

# 印刷新報

THE INSATSU SHIMPO

(木曜日発行)

第4391号

(昭和33年11月11日 第三種郵便物認可)

7月26日 木曜日  
平成24年(2012年)

☆週一回刊

発行所 (株)印刷出版研究所

Tel 06-6441 東京都新宿区早稲田一丁目5番地 (5155) 7925  
FAX: 東京03(5155) 7930 大阪06(6353) 4944  
〒530-0044 大阪市北区東天王寺2-9-4代田ビル東館505(5353) 4886  
年間購読料17,850円(税込)(振替口座00120-4-47973番)

論  
点

目標とするデジタル教科書教材協議会(小宮山宏会長、D.I.T.T.)。今年6月5日には都内でシンポジウムを開催し、普及課題に対する具体的な提言書を発表した。同シンポジウムでデジタル教科書教材を巡る動向や協議会活動を報告した中村伊知哉副会長(慶應義塾大学教授)に、D.I.T.T.が提唱する将来の教育に関する展望を聞いた。(本紙・小田代清登)



中村伊知哉副会長

これまで同協議会では、ワーキンググループで議論を深め、学校と協議している。

印刷業界からも大日本印刷、凸版印刷はじめ出版印刷に携わる印刷会社が加入している。学校関係やIT企業、通信事業者、出版社、新聞社だけでなく、デジタル教科書教材協議会の現会員数は幹事・一般合わせ100社を超える。

中村伊知哉副会長

「ものはや議論先行では先に進まない。今必要なのは熟議よりも決議だ」

## 議論は実行ベースに

## 具体化進む教育の情報化

●デジタル教科書教材協議会 中村副会長に聞く

◆熟議よりも決議を力して実証研究を進め、「財政措置」、「教育の情報化総合計画の策定・実行」の必要性を訴えていた政策提言では、普及課題として「制度改正」が挙げられた。6月に開催されたシンポジウムでは、D.I.T.T.が

力して実証研究を進め、「財政措置」、「教育の情報化総合計画の策定・実行」の必要性を訴えていた政策提言では、普及課題として「制度改正」が挙げられた。6月に開催されたシンポジウムでは、D.I.T.T.が

力して実証研究を進め、「財政措置」、「教育の情報化総合計画の策定・実行」の必要性を訴えていた政策提言では、普及課題として「制度改正」が挙げられた。6月に開催されたシンポジウムでは、D.I.T.T.が

力して実証研究を進め、「財政措置」、「教育の情報化総合計画の策定・実行」の必要性を訴えていた政策提言では、普及課題として「制度改正」が挙げられた。6月に開催されたシンポジウムでは、D.I.T.T.が

力して実証研究を進め、「財政措置」、「教育の情報化総合計画の策定・実行」の必要性を訴えていた政策提言では、普及課題として「制度改正」が挙げられた。6月に開催されたシンポジウムでは、D.I.T.T.が

◆デジタル教科書教材協議会(小宮山宏会長、D.I.T.T.)。今年6月5日には都内でシンポジウムを開催し、普及課題に対する具体的な提言書を発表した。同シンポジウムでデジタル教科書教材を巡る動向や協議会活動を報告した中村伊知哉副会長(慶應義塾大学教授)に、D.I.T.T.が提唱する将来の教育に関する展望を聞いた。(本紙・小田代清登)

◆デジタル教科書教材協議会(小宮山宏会長、D.I.T.T.)。今年6月5日には都内でシンポジウムを開催し、普及課題に対する具体的な提言書を発表した。同シンポジウムでデジタル教科書教材を巡る動向や協議会活動を報告した中村伊知哉副会長(慶應義塾大学教授)に、D.I.T.T.が提唱する将来の教育に関する展望を聞いた。(本紙・小田代清登)

◆デジタル教科書教材協議会(小宮山宏会長、D.I.T.T.)。今年6月5日には都内でシンポジウムを開催し、普及課題に対する具体的な提言書を発表した。同シンポジウムでデジタル教科書教材を巡る動向や協議会活動を報告した中村伊知哉副会長(慶應義塾大学教授)に、D.I.T.T.が提唱する将来の教育に関する展望を聞いた。(本紙・小田代清登)

◆デジタル教科書教材協議会(小宮山宏会長、D.I.T.T.)。今年6月5日には都内でシンポジウムを開催し、普及課題に対する具体的な提言書を発表した。同シンポジウムでデジタル教科書教材を巡る動向や協議会活動を報告した中村伊知哉副会長(慶應義塾大学教授)に、D.I.T.T.が提唱する将来の教育に関する展望を聞いた。(本紙・小田代清登)

◆デジタル教科書教材協議会(小宮山宏会長、D.I.T.T.)。今年6月5日には都内でシンポジウムを開催し、普及課題に対する具体的な提言書を発表した。同シンポジウムでデジタル教科書教材を巡る動向や協議会活動を報告した中村伊知哉副会長(慶應義塾大学教授)に、D.I.T.T.が提唱する将来の教育に関する展望を聞いた。(本紙・小田代清登)

◆行政も積極姿勢 回の提言書は、デジタル教科書を教育現場において紙の教科書と同等に扱えるように、著作権関連や学校予算の使途に関する制度改正を求める意味合いが強い。

D.I.T.T.が発表した政策提言は、すでに政府施

された政府の知財計画2問題は教育の情報化が

◆デジタル教科書教材の将來性を探るにあたっては、紙かデジタルかといふ二元論に陥ることが多い。しかし、中村氏は「デジタル教科書それ自体は道員であり、既存の教育でデジタルが持つ情報共有や、世界とリアルタイムでつながる利点を活かした手法が加わるものである」と指摘する。

デジタル教科書教材の将來性を探るにあたっては、紙かデジタルかといふ二元論に陥ることが多い。しかし、中村氏は「デジタル教科書それ自体は道員であり、既存の教育でデジタルが持つ情報共有や、世界とリアルタイムでつながる利点を活かした手法が加わるものである」と指摘する。

デジタル教科書教材の将來性を探るにあたっては、紙かデジタルかといふ二元論に陥ることが多い。しかし、中村氏は「デジタル教科書それ自体は道員であり、既存の教育でデジタルが持つ情報共有や、世界とリアルタイムでつながる利点を活かした手法が加わるものである」と指摘する。

◆デジタル教科書教材の将來性を探るにあたっては、紙かデジタルかといふ二元論に陥ることが多い。しかし、中村氏は「デジタル教科書それ自体は道員であり、既存の教育でデジタルが持つ情報共有や、世界とリアルタイムでつながる利点を活かした手法が加わるものである」と指摘する。

◆デジタル教科書教材の将來性を探るにあたっては、紙かデジタルかといふ二元論に陥ることが多い。しかし、中村氏は「デジタル教科書それ自体は道員であり、既存の教育でデジタルが持つ情報共有や、世界とリアルタイムでつながる利点を活かした手法が加わるものである」と指摘する。

◆デジタル教科書教材の将來性を探るにあたっては、紙かデジタルかといふ二元論に陥ることが多い。しかし、中村氏は「デジタル教科書それ自体は道員であり、既存の教育でデジタルが持つ情報共有や、世界とリアルタイムでつながる利点を活かした手法が加わるものである」と指摘する。